

株主優待制度のご案内

当社では、株主様への感謝のしるしとして、下記の要領で株主優待制度を設けております。当社グループの取り扱い商品（家庭で使用される雑貨）を贈呈いたしております。株主の皆様におかれましては、当商品をご愛用いただき当社グループの事業に対するご理解を深めていただければ幸甚に存じます。

1. 対象
毎年3月31日現在の当社株主名簿に登録された、当社株式を100株以上ご所有の株主様
2. 優待内容
1,000株以上ご所有の株主様に対して、一律に希望小売価格5,000円相当の当社取り扱い商品で家庭で使用される雑貨類詰め合わせを1セット贈呈。
100株以上1,000株未満ご所有の株主様に対して、一律に1,000円のクオカードを1枚贈呈。
3. 発送時期
毎年、6月中旬より順次発送 以上



(写真は平成28年度の株主優待品です。内容は変更することがございます。)

株式会社 シモジマ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-29-8
TEL.03(3864)0061(代表) FAX.03(3865)4470
URL <https://www.shimojima.co.jp>

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



本報告書は以下のような環境配慮をして印刷・製本しています。
製版工程では、使用後に廃材となるフィルムを使用しない、ダイレフト製版「CTP(Computer to Plate)」を用いています。

印刷工程では、VOC(揮発性有機化合物)の発生が少なく生分解性や脱墨性に優れた植物油インキを使用しています。

株主メモ

| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領 株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領 株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同 連 絡 先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 (第一部) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告の方法 | 電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 公告の掲載URL | https://www.shimojima.co.jp |

1. お知らせ

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されています証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっております。上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 単元未満株式の買取ご請求について

- (1) 特別口座に登録された単元未満株式は、所定のお手続きによって時価にて売却（買取請求）することができます（手数料は無料です）。お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行（上記「連絡先」）までお問い合わせください。
- (2) 証券会社等の口座に登録された単元未満株式の売却（買取請求）につきましては、口座を開設している証券会社等までお問い合わせください。手数料につきましては、各証券会社等までお尋ねください。

3. 少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方法である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。

ご所有の株式のうち、特別口座に登録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことはできませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株主優待

株主の皆さまへ

第56期事業報告書
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)



株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第56期事業報告書（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におきましては、緩やかな経済回復が継続しておりますが、先行きは依然として不透明であります。

このような市場環境のもと当社グループは基本理念であります、「お客様のニーズに迅速かつ確にお応えする」ことを基本に、販売体制の強化、仕入価格の低減、合理化推進による経費削減等収益の確保を目指し全社一丸となって諸施策に取り組んでおります。

業績につきましては、「営業の概況」に記載しておりますとおり、連結売上高は469億96百万円と前期比2.7%の減収となり、損益面につきましては、連結営業利益18億56百万円、連結経常利益20億59百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は11億97百万円となりました。

期末配当につきましては、1株につき普通配当11円といたしたいと存じます。なお、通期では合計22円となります。株主各位のご理解を賜りたくお願い申し上げます。

来期以降の見通しにつきましては、急激な円安、海外政局の不安定等、やや不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループでは経営基本理念に則り、将来の成長を確実にしていくため事業の拡大、経営基盤の強化等を図ってまいりたいと存じます。今後とも当社グループの事業に格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月



代表取締役社長

下島 和光



社是

・誠意・熱意・創意

経営理念

- 一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する
- 一、常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める
- 一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る
- 一、社員の楽しく健康的な生活を確保する

当連結会計年度の概況

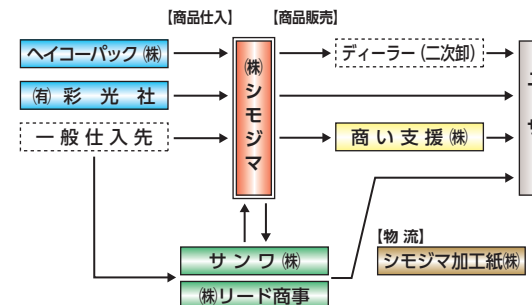
当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策などにより、緩やかな回復基調はみられるものの、中国をはじめとした海外景気の減速、英国のEU離脱問題及び米国の大統領選の影響などから、株式・為替等の金融市場は不安定な状況が続いております。当社グループが属する業界においては、消費マインドの低迷は続いており、景気回復が実感される状況には至っておらず、先行きは依然として不透明であります。

このような状況のもとで、当社グループは基本理念である「お客様のニーズに迅速かつ確にお応えする」ことを基本に、販売体制及び利益基盤の強化に取り組んでまいりました。営業販売部門においては、新規開拓及び紙製品、化成品等の主力商品の販売と特注品の受注獲得に注力いたしました。

また、重点業界における深耕開拓を強化し、さらにパッケージプラザ事業においては、スーパーバイザーによる店舗指導及び販売促進支援活動をすすめてまいりました。店舗販売部門においては、通期の施策である基本の徹底と販売員教育の強化を一貫してすすめ、顧客満足度の向上に努めてまいりました。また、各店舗の立地環境やシーズンに合わせたプロモーション活動を実施いたしました。さらにインターネット通販を含む通信販売との連携強化を図ってまいりました。しかしながら、市場における低価格化商品への移行や、通販業者等との価格競争の激化などから、グループ全体での売上においては、前期の売上を確保することができませんでした。また、利益面においては、グループ全体でコスト改善に努めたことが奏功し、化成品関連商品の粗利率が改善されたこと、販売費及び一般管理費は前期並みの水準であったことにより、前期実績を上回ることができました。

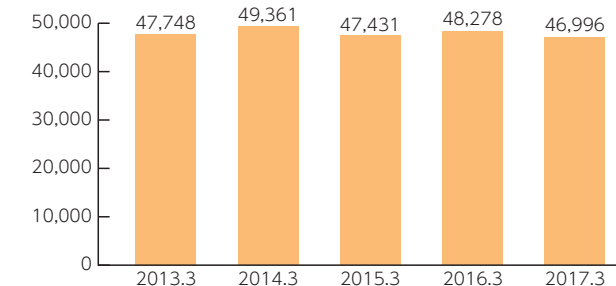
この結果、連結売上高は469億96百万円（前期比2.7%減）、連結営業利益は18億56百万円（前期比16.9%増）、連結経常利益は20億59百万円（前期比21.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は11億97百万円（前期比13.9%増）となりました。

事業の系統図



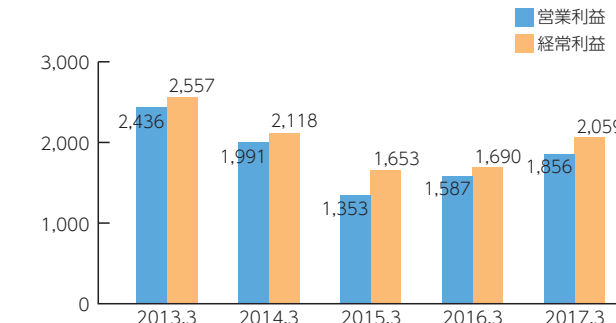
●連結売上高

(単位：百万円)



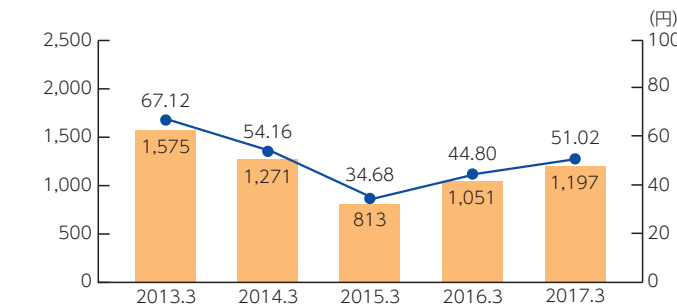
●連結営業利益・連結経常利益

(単位：百万円)



●親会社株主に帰属する当期純利益・連結1株当たり当期純利益

(単位：百万円・円)



記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●事業セグメントの概況

〔紙製品事業〕

連結売上高94億81百万円
(前期比△1.3%)

紙製品事業は、当社創業以来の主力事業としてオリジナルブランドの紙袋、包装紙、紙器を中心に販売しております。新商品の開発を含む既製品の拡販と特注品獲得に注力いたしましたが、業界内における価格競争の激化により、既製品分野が伸び悩みました。その結果、紙製品事業の連結売上高は94億81百万円（前期比1.3%減）となりました。

<主要な商品>

紙袋、包装紙、紙器



〔化成品・包装資材事業〕

連結売上高250億76百万円
(前期比△2.7%)

中核の化成品、包装資材においては、継続して市場と顧客ニーズに適合した商品開発と拡販に努めました。包装資材事業においては、重点業界向けの食品関連包材や、農業資材関係の新商品開発をすすめてまいりました。さらに、主力の化成品事業においても、市場適応商品の開発を継続いたしました。その結果、低価格商品への移行が加速することとなりました。その結果、化成品・包装資材事業の連結売上高は250億76百万円（前期比2.7%減）となりました。

<主要な商品>

ポリ袋、粘着テープ、その他包装資材等



〔店舗用品事業〕

連結売上高124億38百万円
(前期比△3.6%)

「店舗及びオフィスで使用するあらゆるものが揃う」をコンセプトに事業展開している店舗用品事業は、重点商品である文具・事務用品の積極的な新商品導入及び拡販の強化を継続してまいりました。しかし、クリスマス等のイベント関連商品の需要減及び、量販店、通販業者等との価格競争が激化したことにより、前年実績を確保することができませんでした。その結果、店舗用品事業の連結売上高は124億38百万円（前期比3.6%減）となりました。

<主要な商品>

文具事務用品、POP用品、店飾雑貨等



●セグメント情報（要旨）（自平成28年4月1日～至平成29年3月31日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 計 | 調整額 (注2) | 連結 |
|---------------------------|---------|----------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|
| | 紙製品事業 | 化成品・包装 資材事業 | 店舗用品事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 9,481 | 25,076 | 12,438 | — | 46,996 | — | 46,996 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 11 | — | 807 | 819 | △819 | — |
| 計 | 9,481 | 25,087 | 12,438 | 807 | 47,816 | △819 | 46,996 |
| セグメント利益 | 1,227 | 1,773 | 356 | 26 | 3,384 | △1,528 | 1,856 |

(1) 各事業区分に属する主要な商品

- ①紙製品事業 …………… 紙袋・包装紙・紙器
- ②化成品・包装資材事業 …… ポリ袋・粘着テープ・食品包材・紐リボン・その他包装資材
- ③店舗用品事業 …………… POP用品・文具事務用品・店飾雑貨・アパレル関連資材・園芸関連資材
- ④その他（注1） …………… 物流

(2) 調整額（注2）、セグメント利益の調整額△1,528百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) 地域ごとの情報
本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

超ミニサイズ「プチバッグ」

細やかなお礼やちょっとした贈り物に
お使いいただける小さな手提げ袋です。

お菓子や雑貨などに最適です。無地か
ら柄柄まで幅広く取り揃えました。

シールやリボンと組み合わせるとかわいら
しくお使いいただけます。



▲プチバッグ

Wギフトシャンテバッグ

簡単にキュッと結びだけの手軽で可愛
いギフトバッグです。

LDポリエチレン色違いの2枚重ねで内
側のカラーを覗かせ、軽い素材で華やか
なラッピングを演出することができます。



▲Wギフトシャンテバッグ

空気で包む、空気のパッケージ
「エアースケルトンバッグ」

ワインのフルボトルや日本酒の四合瓶
対応。巾着仕様のポリ袋にボトルを入れ
て、付属のストローで空気を入れると、
中のボトルがしっかり固定するアイディ
ア商品です！

自立するので、
店頭ディスプレイとしてもご利用
いただけます。
紐のカラーが
5色から選べます。



エアースケルトン
バッグ▶

気軽に楽しむ、新しい和風食品箱
「ふあるかたボックス」

桐と材質がよく似る「ファルカタ」材を使用した、新感覚ス
タイル！

「ふあるかた」はマメ科の広葉樹の一種で、柔らかくて裂けにくく、
とっても軽い材質が特徴です。その長所と見た目を活かして、新し
い和風食品箱を開発いたしました。

和菓子の包装
はもちろん、
アイディア次第で
さまざまな用途
にご利用いた
だけます。



▲ふあるかたボックス

超強い！3層構造で破れにくい
「ハイパワーゴミ袋」

大量のゴミや割り箸にも負けない！安心のゴミ袋を開発いた
しました。

伸縮性のあるLLDポリエチレンを、引っ張りに強いHDポリエチ
レンでサンドイッチした3層フィルム製。割り箸などの突起物にも強い
ので、特に飲食店
様にご利用いた
だけます。

半透明4規格、
50枚入りでライ
ンナップいたし
ました。



▲ハイパワーゴミ袋

1. 各種展示会への出展

当社は、2016年7月6日から8日にかけて『国際文具・紙製品展(ISOT)』（東京ビッグサイト開催）、10月12日から14日にかけて『国際フラワーEXPO (IFEX)、農業ワールド』（幕張メッセ開催）に出展いたしました。国際文具・紙製品展では、“Watashi Style”をテーマに、好みのパーツを組み合わせて作る紙袋など、当社初の試みである“女性活躍プロジェクト”のメンバーが女性目線で企画開発した商品を紹介しました。初出展となる農業ワールドでは、スムーザーマシンや加工品を入れる袋・箱・ボトル容器を紹介し、今注目の6次産業（農林水産業者が生産、加工、販売まで一体的に取り組む経営形態）の多様化するニーズに対応した販売スタイルを提案しました。

その他、8月1日から3日にかけて『パティスリー&ブーランジェリージャパン2016』（ペーカリー・洋菓子に関する素材・設備機器・資材展示会-東京ビッグサイト開催）、9月7日から9日にかけて『東京インターナショナル・ギフト・ショー 秋2016』、2017年2月8日から10日にかけて『東京インターナショナル・ギフト・ショー 春2017』（ともに東京ビッグサイト開催）、2月22日から25日にかけて『モバックショウ 国際製パン製菓関連産業展』（インテックス大阪開催）に出展いたしました。今後も各種展示会に積極的に出展し、様々な新規顧客の獲得を目指し、ビジネスチャンスを広げてまいります。



▲各種展示会への出展

2. シモジマ公式ホームページリニューアル

2017年2月、シモジマ公式ホームページを完全リニューアルいたしました。デザインを一新し、PCのワイドモニターからスマートフォンまで、あらゆるデバイスに対応した、ページレイアウトの自動最適化システムを採用しております。

一方でコンテンツやサービスも拡充。「店舗紹介」のページでは各店からの最新情報を、「新商品のご案内」、「季節商品のご案内」のページでは商品情報を、タイムリーに発信いたします。

また、「ギフトラッピング情報」のページではレッスン動画を盛り込み、季節に合わせたテクニックの提案を定期的に更新してまいります。ラッピング講習会をはじめとした、「講習会のご案内」では各店での開催情報を記載し、オンラインでの参加申し込みが可能になりました。

盛りだくさんに生まれ変わったシモジマホームページに、ぜひ一度ご訪問ください。

シモジマHP▶

<https://www.shimozima.co.jp/>

3. お客様ニーズに対応した商品企画

当社は、商品企画の新システムとして、従来より「ウォント・スリッパ」を重視してきましたが、2016年7月20日から新しく、“キラメキ!! 商品企画、アイデア、デザイン大募集”を始めました。これは、従業員が提案したアイデアが、商品開発に反映されたことをダイレクトに評価し、表彰する制度です。報奨はそれほど大きなものではありませんが、全国のあらゆる部署のスタッフから毎日たくさんのアイデアが集まっており、ウォント・スリッパ同様、社長が目を通しています。ウォント・スリッパはお客様からのご要望をもとに作成されますが、「キラメキ!!」の制度により、お客様の隠れた声、潜在的なニーズについても形にし、新商品として結実させていくことができれば、と期待されています。



▲社内公募ポスター

4. 環境対策・省エネへの取組み

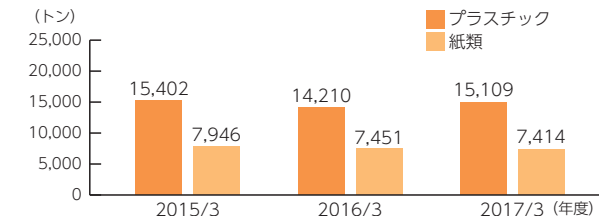
容器包装リサイクル法への対応

当社は、従来より、包装の利用による環境への負荷について認識しており、その対応の一環として、容器包装リサイクル法への対応に取り組んでいます。具体的には、特定事業者として再商品化委託料を公益財団法人日本容器包装リサイクル協会にお支払しているほか、容器包装多量利用事業者として、排出抑制に関する報告書を関東経済産業局に提出しています。

排出抑制に関しては、お客様への声掛けのほか、お客様向けのポリ袋の薄肉化や紙袋のサイズの適正化等の努力を継続しています。包装用品のサプライヤーといたしましては、包装用品の楽しさや便利さと環境負荷の低減を両立させるべく、ポリ袋「ニューライトロール」や、レジ袋「EFハンド」シリーズなどの薄肉化した商品や、プチバッグなどの小型化した紙袋など、環境対応型商品の開発に取り組んでおります。

また、直営店舗での不要紙袋の回収等の試みも、基幹店を中心に拡大を図っております。これからも資源の有効活用而努力してまいります。

容器包装リサイクル法対応による取り扱い容器包装資材の量の推移



5. 消費電力抑制の取組み

当社では、引き続き、電力消費の抑制をCSRの重要課題として取り組んでおります。

具体的には、従業員が節電活動を行っているほか、店舗等でのLED導入等を適宜進めています。

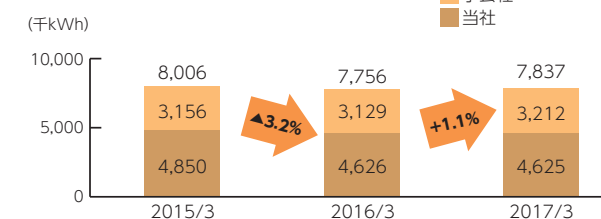
今期におきましては、グループの消費電力量は7,837千kWhとなり、前期比1.1%増加となりました。主な要因は、生産子会社における品質管理活動などでありまして。

また、原単位として、当社は、設備面積当たりの消費電力量を指標としております。同指標の推移といたしましては、当社全体で101.63kWh/m²となり前期比で3.4%の減少、子会社では、40.74kWh/m²となり前期比で2.6%の増加となりました。

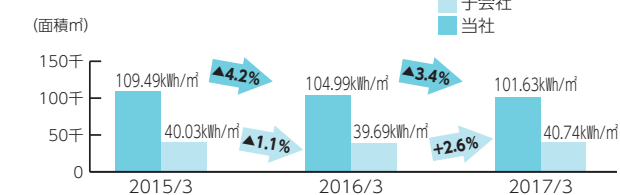
CO₂排出量は、当社全体では、2,364t-CO₂となり（調整後排出係数換算*）、9.9%の減少となりました。主に排出係数の小さい電力会社への切り替えによるものです。

今後もエネルギー管理のため、努力してまいります。

●グループでの消費電力量の推移

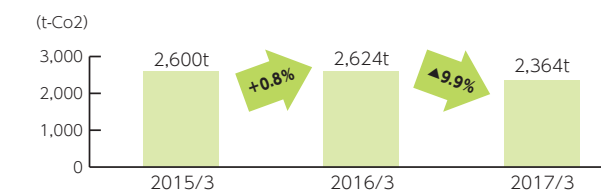


●グループでの電力使用量kWh/m²



*小数点2位以下を切り捨てております。

●本社のみでのCO₂排出量



*調整後排出係数換算：環境省・経済産業省の省令に基づき算出された係数で換算しています。

*小数点2位以下を切り捨てております。

◆連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 (平成29年 3月31日現在) | 前期 (平成28年 3月31日現在) | 科目 | 期別 | 当期 (平成29年 3月31日現在) | 前期 (平成28年 3月31日現在) |
|------------------|----|--------------------------|--------------------------|--------------|----|--------------------------|--------------------------|
| (資産の部) | | | | (負債の部) | | | |
| 流動資産 | | 22,105 | 20,766 | 流動負債 | | 4,536 | 4,556 |
| A 現金及び預金 | | 10,423 | 8,864 | 支払手形及び買掛金 | | 2,278 | 2,169 |
| 受取手形及び売掛金 | | 5,747 | 5,645 | リース債務 | | 145 | 143 |
| B 商品及び製品 | | 4,868 | 5,006 | 未払法人税等 | | 571 | 470 |
| 原材料及び貯蔵品 | | 526 | 549 | 賞与引当金 | | 359 | 354 |
| 繰延税金資産 | | 179 | 273 | その他 | | 1,181 | 1,417 |
| その他 | | 366 | 436 | 固定負債 | | 2,073 | 2,165 |
| 貸倒引当金 | | △7 | △10 | リース債務 | | 504 | 588 |
| 固定資産 | | 17,265 | 17,695 | 再評価に係る繰延税金負債 | | 277 | 277 |
| 有形固定資産 | | 13,799 | 14,336 | 退職給付に係る負債 | | 995 | 988 |
| C 建物及び構築物 | | 4,933 | 5,144 | 資産除去債務 | | 33 | 33 |
| 機械装置・運搬具 | | 243 | 266 | その他 | | 261 | 277 |
| 土地 | | 7,361 | 7,361 | 負債の部合計 | | 6,609 | 6,721 |
| リース資産 | | 1,039 | 1,372 | (純資産の部) | | | |
| その他 | | 221 | 191 | 株主資本 | | 38,649 | 37,968 |
| D 無形固定資産 | | 530 | 631 | 資本金 | | 1,405 | 1,405 |
| リース資産 | | 119 | 130 | 資本剰余金 | | 1,304 | 1,304 |
| その他 | | 411 | 501 | 利益剰余金 | | 36,818 | 36,137 |
| 投資その他の資産 | | 2,934 | 2,726 | 自己株式 | | △879 | △879 |
| 投資有価証券 | | 404 | 304 | その他の包括利益累計額 | | △5,959 | △6,276 |
| 長期貸付金 | | 180 | 167 | その他有価証券評価差額金 | | 206 | 134 |
| 繰延税金資産 | | 287 | 253 | 繰延ヘッジ損益 | | 31 | △182 |
| その他 | | 2,210 | 2,138 | 土地再評価差額金 | | △6,195 | △6,195 |
| 貸倒引当金 | | △147 | △137 | 退職給付に係る調整累計額 | | △1 | △32 |
| | | | | 非支配株主持分 | | 70 | 48 |
| | | | | 純資産の部合計 | | 32,761 | 31,739 |
| 資産合計 | | 39,370 | 38,461 | 負債及び純資産の部合計 | | 39,370 | 38,461 |

■連結財務状況

Point A

固定資産関連の支出が減少したことにより、1,559百万円増加しました。

Point B

商品在庫の減少により、138百万円減少しました。

Point C

主に減価償却費により、234百万円減少しました。

Point D

主に減価償却費及び減損により100百万円減少しました。

Point E

連結累計期間の純利益1,197百万円を計上、516百万円の配当金を通期でお支払した結果、681百万円増加しました。

Point F

為替予約の期末再評価により、繰延ヘッジ損益が213百万円増加しました。

Point G

純資産が1,021百万円増加した結果、自己資本比率は83.0%となっております。

◆連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) | 前期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日) |
|-----------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | | 46,996 | 48,278 |
| 売上原価 | | 31,737 | 33,222 |
| A 売上総利益 | | 15,259 | 15,056 |
| 販売費及び一般管理費 | | 13,402 | 13,468 |
| 営業利益 | | 1,856 | 1,587 |
| 営業外収益 | | 249 | 284 |
| 営業外費用 | | 46 | 181 |
| 経常利益 | | 2,059 | 1,690 |
| 特別利益 | | 57 | 67 |
| B 特別損失 | | 238 | — |
| 税金等調整前当期純利益 | | 1,878 | 1,757 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 738 | 630 |
| 法人税等調整額 | | △80 | 49 |
| 当期純利益 | | 1,220 | 1,077 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | | 22 | 26 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1,197 | 1,051 |

◆平成30年3月期連結業績予想 (自平成29年4月1日～至平成30年3月31日)

(単位：百万円)

| 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社の株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------|
| 48,600 (+3.4%) | 2,000 (+7.7%) | 2,150 (+4.4%) | 1,430 | 60.93円 |

(%表示は対前期増減率)

■連結損益状況

Point A

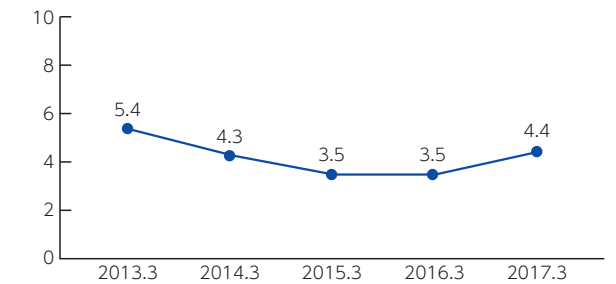
粗利率の向上により、203百万円増加しています。

Point B

直営店舗の減損損失によるものです。

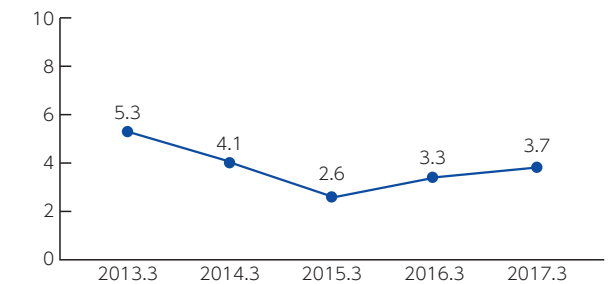
●売上高経常利益率

(単位：%)



●自己資本利益率 (ROE)

(単位：%)



◆連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科目 | 期別 | 当期 | 前期 |
|---------------------|----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | （自平成28年4月1日 至平成29年3月31日） | （自平成27年4月1日 至平成28年3月31日） |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 2,677 | 2,576 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △609 | △972 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △661 | △916 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | 2 | △37 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | | 1,409 | 649 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 8,854 | 8,204 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | | 10,263 | 8,854 |

◆連結株主資本等変動計算書（自平成28年4月1日～至平成29年3月31日）

（単位：百万円）

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|--------------|---------|----------|--------------|-------------|----|---------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額 | | | |
| 当期首残高 | 1,405 | 1,304 | 36,137 | △879 | 37,968 | 134 | △182 | △6,195 | △32 | △6,276 | 48 | 31,739 | |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △515 | | △515 | | | | | | | △515 | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,197 | | 1,197 | | | | | | | 1,197 | |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 | | | | | | | △0 | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | | 72 | 213 | － | 31 | 316 | 22 | 339 | |
| 当期変動額合計 | － | － | 681 | △0 | 681 | 72 | 213 | － | 31 | 316 | 22 | 1,021 | |
| 当期末残高 | 1,405 | 1,304 | 36,818 | △879 | 38,649 | 206 | 31 | △6,195 | △1 | △5,959 | 70 | 32,761 | |

会社の概要（平成29年3月31日現在）

会社名 株式会社シモジマ
 英訳名 SHIMOJIMA Co.,Ltd.
 創業 大正9年
 設立 昭和37年4月26日
 資本金 1,405百万円
 本社 東京都台東区浅草橋五丁目29番8号
 TEL 03-3864-0061（代表）
 従業員数（連結）830名（就業員数）
 （単独）582名（就業員数）

事業所一覧（平成29年6月27日現在）

営業所 東京、大阪、札幌、盛岡、仙台、新潟、金沢、宇都宮、埼玉、前橋、千葉、横浜、静岡、名古屋、京都、高松、広島、福岡
 店舗（東京） 馬喰横山店、浅草橋駅前店、浅草橋クラマエ店、浅草橋本店、府中店、関東通販店、east side tokyo、ラッピング倶楽部、パッケージプラザ三軒茶屋店、パッケージプラザ中野店、パッケージプラザ葛西店、パッケージプラザ上板橋店、プロパックかっぱ橋店、プロパック立川店
 （大阪） 心斎橋店、船場センタービル3号館店、船場センタービル7号館店、西梅田店、プロパック東大阪店
 （その他） 名古屋店、明道町店（名古屋市）、岐阜店、ニューポートひたちなか店、宇都宮店、宇都宮市場店、川口店、松戸店、船橋店、三宮店（神戸市）、canaelleグランツリー武蔵小杉（川崎市）、WRAPPLE福岡パルコ、パッケージプラザ平林店（長野市）、パッケージプラザ宮千代店（仙台市）、パッケージプラザ柏店、パッケージプラザ横浜店、パッケージプラザ渋谷店（秦野市）、パッケージプラザ米子店、パッケージプラザ大宮店、プロパック所沢店、プロパック西大路五条店（京都市）、ブライダルボックスアニバーサリーサロン横浜店（横浜市）
 配送センター 田沼配送センター（佐野市）、東部配送センター（さいたま市）、西部配送センター（東大阪市）、大阪南港物流センター（大阪市）
 子会社 商い支援(株)（東京都台東区）、シモジマ加工紙(株)（佐野市）、サンワ(株)（大阪市中央区）、(株)リード商事（東京都大田区）、ヘイコーパック(株)（栃木県芳賀町）、(株)彩光社（東京都荒川区）、(株)エスティナー（東京都台東区）

株式の状況（平成29年3月31日現在）

発行済株式総数 24,257千株
 発行可能株式総数 67,000千株
 株主数 5,838名

役員一覧（平成29年6月27日現在）

代表取締役社長 下島 和光
 取締役常務執行役員 横山 庄蔵（営業統括本部長）
 取締役常務執行役員 下島 公明（商品統括本部長）
 取締役上席執行役員 笠井 義彦（営業本部長）
 取締役上席執行役員 下島 雅幸（管理本部長兼人事部長）
 取締役上席執行役員 小野寺 仁（経営企画室長）

社外取締役 船井 勝仁
 社外取締役 梅野 勉
 常勤監査役 桑子 幸彦
 常勤監査役 古橋 孝夫
 社外監査役 佐藤 裕一
 社外監査役 榎本 峰夫
 上席執行役員 石川 雅秋（商品本部長）
 上席執行役員 下島 謙司（販売本部長）
 執行役員 工藤 弘行（商品本部副本部長兼第一商品部長）
 執行役員 加藤 吉信（経理部長）
 執行役員 川原 利治（営業本部副本部長兼第一営業部長）
 執行役員 服部 進吉（営業本部副本部長兼FC営業部長）

当社は、平成26年6月24日より執行役員制度を施行しています。